

令和5年度 第70回 四国卓球選手権大会 一般・ジュニアの部 実施要項

1. 大会名 令和5年度 第70回四国卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）
2. 主催 四国卓球連盟
3. 主管 一般社団法人徳島県卓球協会
4. 後援 徳島県教育委員会・(公財)徳島県スポーツ協会
5. 期日 令和6年2月10日（土）・11日（日）
6. 会場 アミノバリューホール(鳴門県民体育館)
Tel088-685-3131 徳島県鳴門市撫養町立岩宇四枚6 1
7. 競技日程 2月10日（土）9：00 開会式・混合ダブルス・団体戦（兩種目を並行して実施）
2月11日（日）9：00 開始式（表彰）・個人戦・閉会式
8. 競技規則 現行の日本卓球ルールによる。（ゼッケンを必ず付け、姓名、県名、所属を明記すること。）
9. 実施種目 参加数及びその他連絡事項

A. 団体戦の部

(1) 試合方法

- ① 男・女ともトーナメント方式により優勝を決定する。
- ② 男・女とも4単1複の3点先取とする。（1・2番の出場選手同士で、3番の複を組むことはできない。）
- ③ 外国選手の出場については1チーム1名以内で1試合につき1回のみ出場とする。
- ④ 監督1名・選手は4～6名でチーム編成をすること。
- ⑤ 準決勝からタイムアウト制を導入する。

(2) 参加数及び参加制限

- ① 参加数は各県9チーム以内で、同一所属からは2チーム以内とする。各県とも一般6、高校2、中学校1とする。ただし、高校・中学校が定数に満たない場合は、一般で補充できる。小学生のチームは参加できない。
- ② クラブチームは認めるが、児童・生徒・学生（日学連登録者）を含めての編成は認めない。
- ③ 原則として高等学校は各県男・女とも2チーム以内とし、同一校からの2チームの出場は認めない。
- ④ 原則として中学校は各県男・女とも1チームとする。（中体連が認めたクラブチームも含める。）
- ⑤ 四国以外の大学に在学中の学生は出場できない。
- ⑥ 令和4年度(第69回)四国ランキング(ベスト8)保持チームは、無条件出場を認める。
- ⑦ いずれのチームも、各県卓球協会より選出されたチームに限る。
- ⑧ 一般のチームが出場枠に満たない場合、高校や中学校のチームで補充できる。この場合の高校・中学校とも補充するチーム数は制限しない。（推薦は除く）同一校からの2チームの出場は認めない。

B. 個人戦の部

(1) 種目及び参加数

種目	参加数	種目	参加数	種目	参加数
男子シングルス	8名以内	男子ハイシックスティ	4名以内	女子ローシックスティ	4名以内
女子シングルス	8名以内	男子ローセブンティ	4名以内	女子ハイシックスティ	4名以内
男子ダブルス	4組以内	男子ハイセブンティ	4名以内	女子ローセブンティ	4名以内
女子ダブルス	4組以内	男子エイティ	4名以内	女子ハイセブンティ	4名以内
混合ダブルス	4組以内	男子教職員	8名以内	女子エイティ	4名以内
男子サーティ	8名以内	女子サーティ	8名以内	女子教職員	8名以内
男子フォーティ	8名以内	女子フォーティ	8名以内	男子ジュニア	8名以内
男子フィフティ	8名以内	女子フィフティ	8名以内	女子ジュニア	8名以内
男子ローシックスティ	4名以内	開催県は各種目(混合ダブルスを除く)とも参加数を1.5倍以内とする			

(2) 試合方法

- ① 各種目ともトーナメント方式により優勝を決定する。ただし、参加者が3名の場合はリーグ戦とする。
- ② 各種目とも準決勝からタイムアウト制を導入する。
- ③ チェンジエンドは団体・個人戦とも全試合行う。

(3) 参加資格

- ① 当該県卓球協会に加盟している選手に限る。（四国の高等学校出身者で、四国以外の大学に在学中の選手についてはこの限りではない。）
- ② 個人戦への出場は1人1種目とする。また、外国籍選手は全種目出場できない。（ただし、全日本卓球選手権大会の要項に準ずる。）
- ③ 教職員の部は、教育関係団体(厚生労働省管轄含む)の教職員及び学校長が認めた外部コーチとする。

(4) 無条件参加選手※（1）の参加数以外に出場できる。（印：当該種目※ 上位種目△）

○ 四国大会関係

- ① 前年度のジュニアシングルス、一般シングルのランキング保持者は、自身の保持する種目に出場

できる。(ジュニアは当該種目か一般の部)。

- ② 前年度の年齢制限のある種目のランキング保持者で、次の年齢種目に達した時は、ランキング保持種目又は年齢が達した種目のいずれかの種目に出場できる。その他の種目は無条件参加枠はない。
- ③ 当年度四国高等学校選手権大会でシングルのベスト4以上の選手について、3年生は一般の部、1・2年生はジュニアの部か一般の部に出場できる。
- ④ 当年度四国中学校総合体育大会でシングルのベスト4以上の選手について、3年生はジュニアの部か一般の部に出場できる。1・2年生はカデットの部、ジュニアの部、一般の部のいずれかの種目に出場できる。
- ⑤ 前年度四国卓球選手権大会で、上位種目のランキング選手は該当年齢種目に出場できる。

○ 全国(全日本選手権)大会関係

- ① 前年度(2022年)全日本選手権大会(カデット(シングルのみ))、前年度(2023年)全日本選手権大会(S、D、ジュニア)及び、当年度全日本卓球選手権大会(ホープス、カブ、バンビ)のランキング保持者(組)は、ランキング保持種目か上位種目のいずれかの種目に出場できる。
- ② 前年度(2022年)全日本卓球選手権(マスターズ)のランキング保持者は、当該種目、上位種目、一般の部のいずれかの種目に出場できる。
- ③ 当年度全国高等学校選手権大会、全国中学校大会のシングルのランキング保持者は当該種目か上位種目に出場できる。(高校3年生は一般の部、高校1・2年生及び中学3年生はジュニアの部か一般の部)
- ④ 当年度全国高等学校選手権大会のダブルスのランキング保持者は男女ダブルスに出場できる。
- ⑤ 上記以外で、当年度の全日本選手権大会(一般・ジュニアの部)に何らかの理由で推薦になった選手も出場できる。

(5) 年齢制限

- サ ー テ ィ の 部 平成6年(1994年)4月1日以前に生まれたもの
- フ ォ ー テ ィ の 部 昭和59年(1984年)4月1日以前に生まれたもの
- フ ィ フ テ ィ の 部 昭和49年(1974年)4月1日以前に生まれたもの
- ローシックスティの部 昭和39年(1964年)4月1日以前に生まれたもの
- ハイシックスティの部 昭和34年(1959年)4月1日以前に生まれたもの
- ローセブンティの部 昭和29年(1954年)4月1日以前に生まれたもの
- ハイセブンティの部 昭和24年(1949年)4月1日以前に生まれたもの
- エ イ テ ィ の 部 昭和19年(1944年)4月1日以前に生まれたもの
- ジ ュ ニ ア の 部 平成18年(2006年)4月2日以降に生まれたもの (高校2年生以下)

10. 使用球 ニッタク：3スター プレミアムクリーン、VICTAS：VICTAS VP40+3スター
バタフライ：バタフライ 3スターボール R40+ を使用する。
11. 参加料 団体1チーム 10,000円(一般・高校・中学とも)、シングルス1名 2,000円、
ダブルス1組 3,000円(各県一括入金のこと。)
振込先：徳島大正銀行 南昭和町支店(普)8537281
「一般社団法人徳島県卓球協会 代表理事 吉岡宏美」
12. 申込締切日 令和5年1月23日(土)必着(各県でまとめて一括で申し込んでください。)
13. 申込先 〒770-0942 徳島県徳島市昭和町7丁目25 一般社団法人徳島県卓球協会 宛
E-mail：enamike61@yahoo.co.jp 榎並正人 090-9555-5314
14. 監督及び代表者会議 令和6年2月10日(土) 8:10～ アミノバリューホール 2F 視聴覚室
※団体戦に出場するチームの監督は必ず参加すること。
団体戦のメンバー変更は、監督会議でのみ変更できる。
個人戦は変更を認めない。参加申込みの不備による追加・変更は認めない。
15. 練習日時 2月 9日(金) 14:00～17:00 (フリー)
10日(土) 8:00～ 8:50 (コートを県別指定)
11日(日) 8:00～ 8:50 (コートを県別指定)
16. その他 (1) 前年度の総合優勝県は開会式で優勝杯の返還をしてください。前年度の男女団体優勝チームは、開会式で優勝杯の返還をしてください。
(2) 傷害等の応急処置は行いますが、その後の責任は負いません。
(3) 1日目の参加者は開会式に、2日目の参加者は開始式に参加してください。
(4) 個人戦の審判は敗者審判とする。ただし、初戦と準決勝戦以降は開催県で行う。
(5) 持ち込んだ弁当殻やゴミは、すべて持ち帰ってください。館内自販機で購入した物は、備え付けのゴミ箱をお願いします。
(6) 鳴門大塚スポーツパーク内が満車の場合でも、近隣の会社やホームセンター等の駐車場には絶対に駐車しないようにお願いします。
17. 四国卓連理事会 令和6年2月10日(土) 13:00～ アミノバリューホール 2F 視聴覚室

☆ 今年度は、感染症対策としての「連絡先および健康状態申告のお願い」・「アドバイザー申請書」・「帯同者申請書」等の提出はありません。引き続き、各個人での感染症対策をお願いいたします。